

有珠山の火山活動解説資料

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

<噴火予報（噴火警戒レベル1：活火山であることに留意）が継続>
9日09時頃から火山性地震がやや多い状態となっています。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況（図1～4）

9日09時頃から振幅の小さな火山性地震がやや多い状態となっています。9日09時から15時までに19回（速報値）発生しました。地震は、山頂火口原のやや深い領域で発生しています。

火山性微動は観測されていません。

監視カメラによる観測では、山頂火口原からの噴気の様子に特段の変化はありません。

2015年4月にも、山頂火口原のやや深い領域で火山性地震が増加しましたが、火山活動には変化は認められませんでした。また、2000年3月の噴火前に認められたような地震活動の急激な活発化は観測されていません。

この火山活動解説資料は、気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』、『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

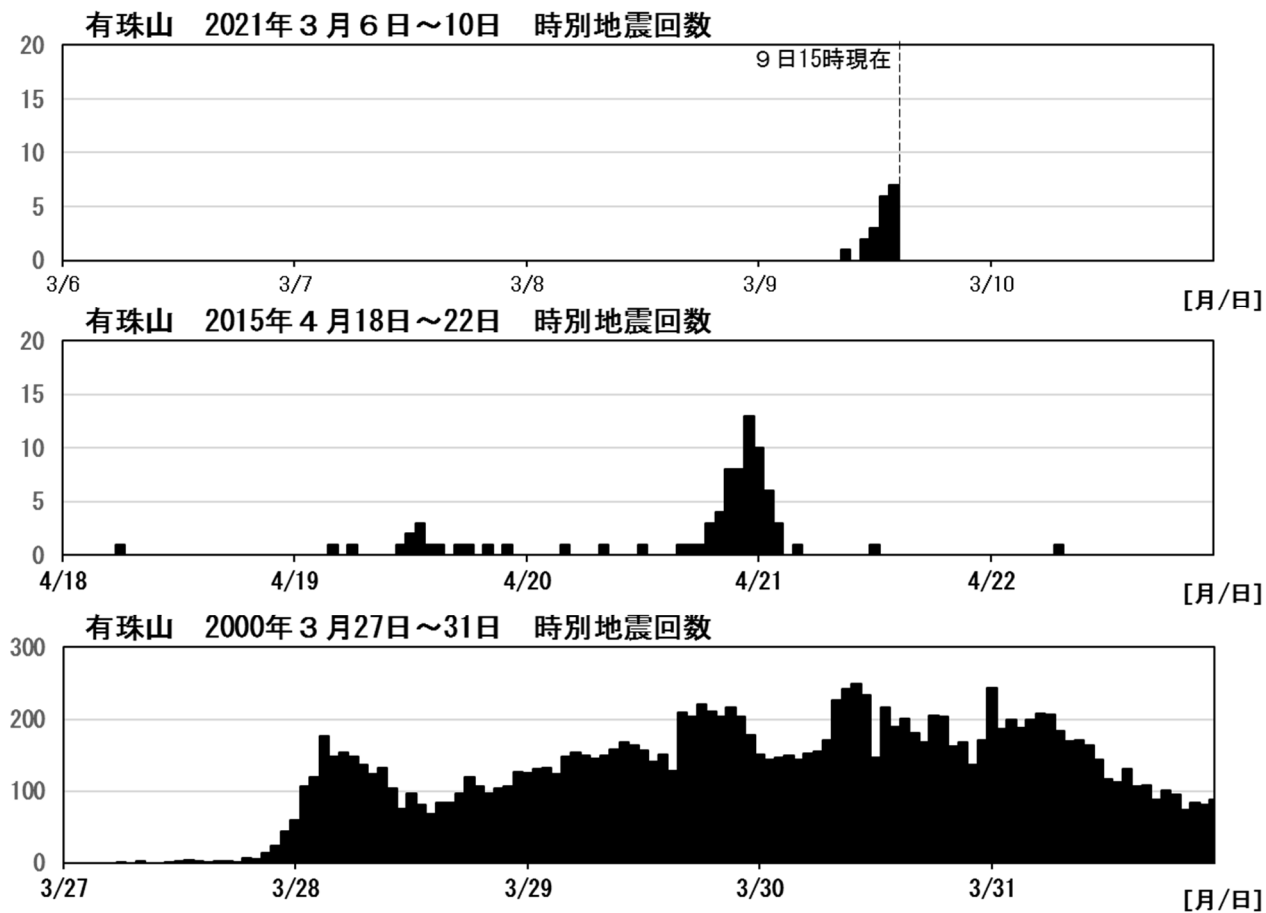


図1 有珠山 火山性地震の特別地震回数
(上: 2021年3月6日~10日、中: 2015年4月18日~22日、下: 2000年3月27日~31日)
計測基準: 南山麓地震観測点で $0.3\mu\text{m}$ 以上、S-P2秒以内



図2 有珠山 北西側から見た山体の状況（3月9日、月浦監視カメラによる）

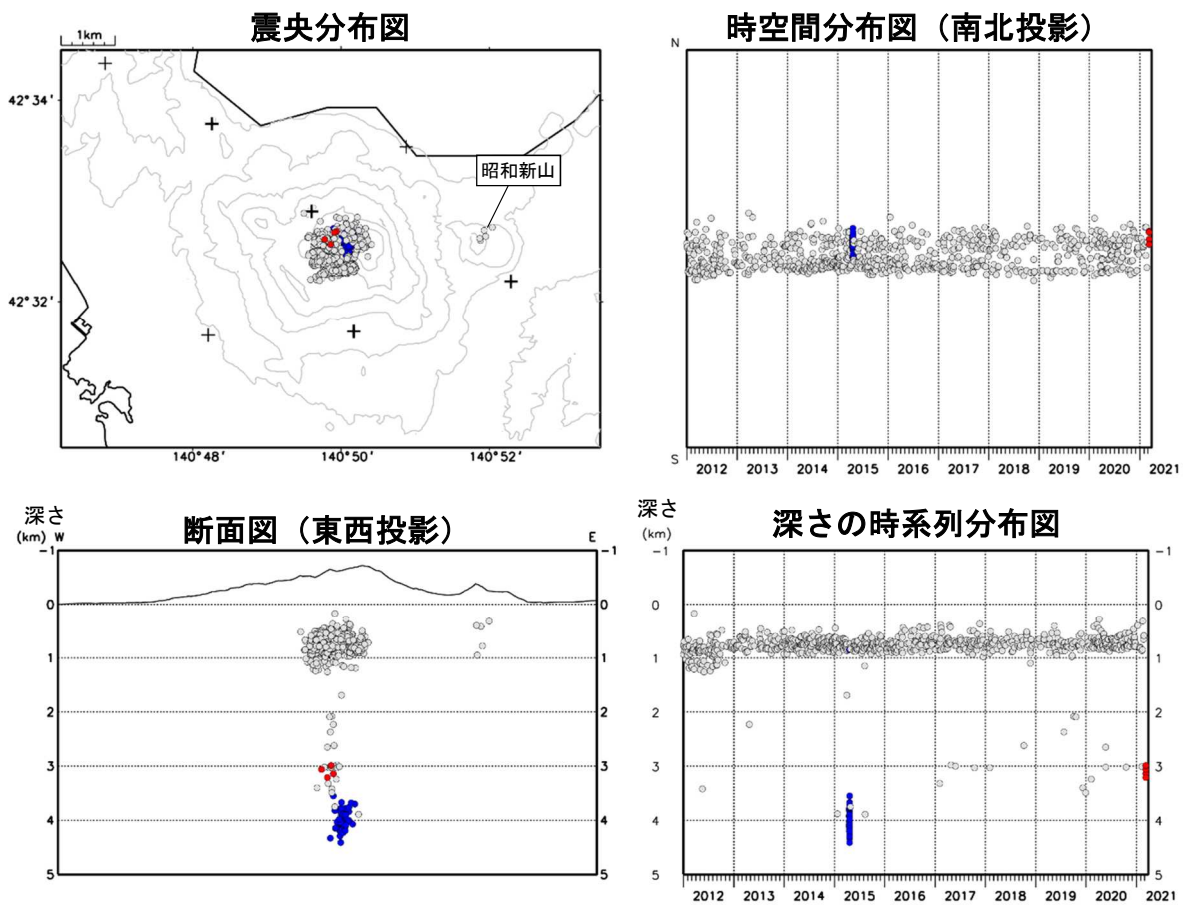


図3 有珠山 火山性地震の震源分布（2012年1月～2021年3月9日）
 ●印：2012年1月～2021年3月8日の震源 ●印：2015年4月19日～22日
 ●印：2021年3月9日の震源 +印：地震観測点

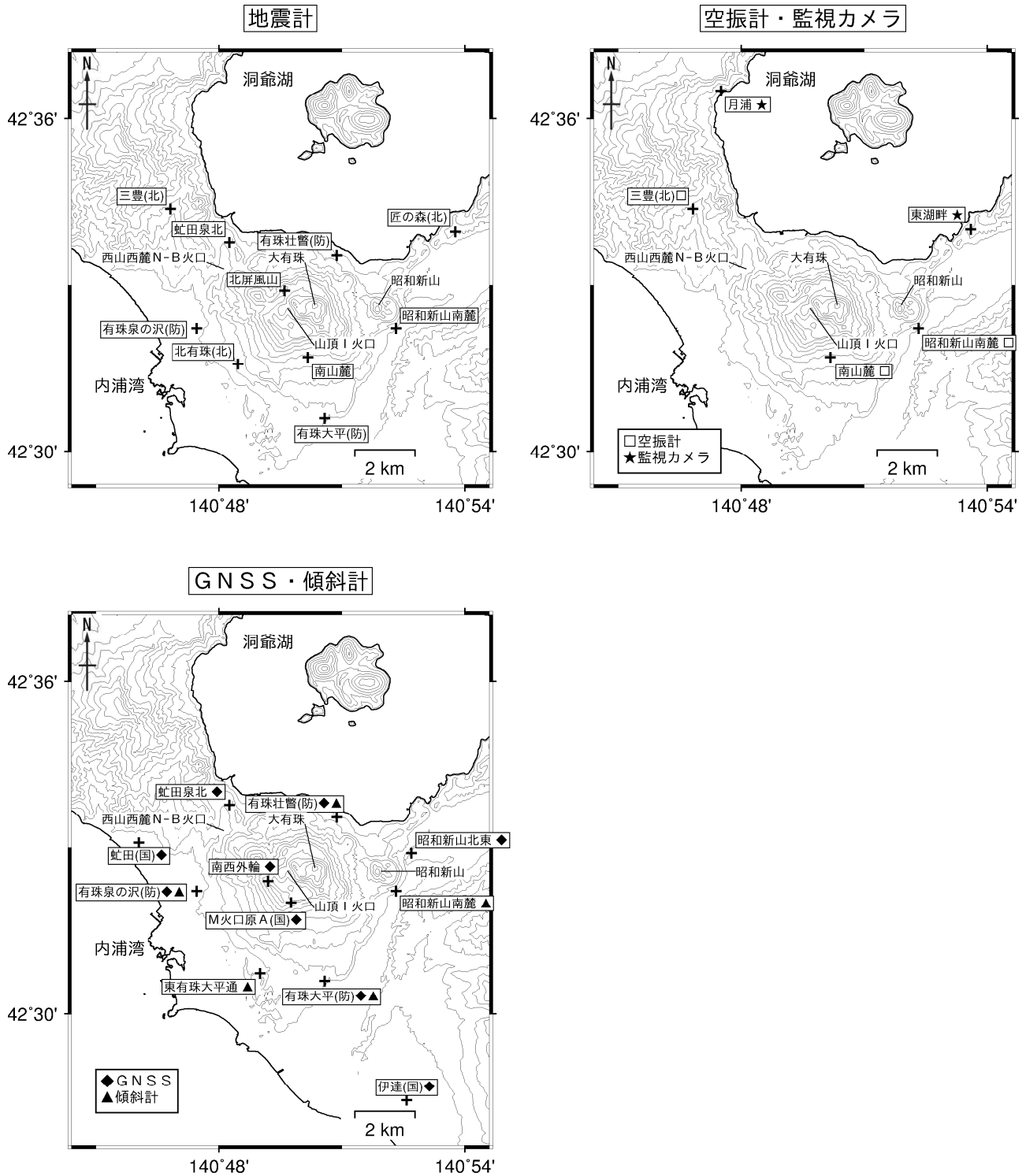


図4 有珠山 観測点配置図

+印は観測点の位置を示します。

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

(国) : 国土地理院

(北) : 北海道大学

(防) : 国立研究開発法人防災科学技術研究所